

第4回GFVCセミナー | 食産業に関する現地のトレンドセミナー

令和3年度

輸出先国・地域における現地の体制強化委託事業

(海外展開に際して検討すべき現地の課題と対策にかかる情報整理及び事業者への情報提供)

～シンガポール・タイ・ベトナム・台湾・中国の最新トレンドをご紹介～

株式会社野村総合研究所

2023年03月22日



0. 活動概要

1. 台湾

2. 中国

3. タイ

4. シンガポール

5. ベトナム

現地トレンドと海外展開の課題と対策を整理し、農水省HPにて情報発信中

本活動の背景

- 現在、「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」に基づき、2025年までに2兆円、2030年までに5兆円という輸出額目標を設定して取り組みを進めている。
- その活動の一つとして、海外進出と組み合わせた輸出の拡大があるとし、「輸出を後押しする農林水産・食品事業者の海外展開を支援」を行っている。
- 昨年度は、「農林水産物・食品の輸出拡大を後押しする食産業の海外展開ガイドライン」を作成。本年度から、輸出支援プラットフォームと連携した輸出先国・地域ごとでの支援体制構築が進んでいる

活動概要

- 「**事業展開のきっかけとなるトレンド**」と「**海外展開における課題と対策**」を整理。
 - 対象国は、ベトナム、シンガポール、タイ、中国、台湾の5か国・地域
 - トレンドは、公開情報中心に整理。課題と対策はインタビューを中心に整理
- **農水省のホームページ及び各種イベントにて本調査結果を発信し、輸出の拡大と海外展開の活動拡大に貢献することを目指す。**
 - 調査結果の公表は、「<https://www.maff.go.jp/j/kokusai/kokkyo/platform.html>」にて実施
 - テーマレポートについては、（1か国・地域で15テーマ）×（5か国・地域）＝計75テーマを収録
 - 事業者ヒアリングレポートについては、（1か国・地域で5企業）×（5か国・地域）＝計25テーマを収録

本日の報告内容詳細は、以下URLにて公開しております

農林水産物・食品の輸出拡大を後押しする 食産業の海外展開ガイドライン

- 輸出に留まらず、現地で事業を行う「海外展開」へのステップアップしていくことも、事業者の重要な選択肢の一つ
- 海外展開をサポートすることを目的として『農林水産物・食品の輸出拡大を後押しする食産業の海外展開ガイドライン』を策定

海外展開ガイドライン（概要版・詳細版）

3-2. 海外展開のベストプラクティス
海外展開の注意点に対するベストプラクティスとして、
事業推進および経営管理に関する以下の1～9が挙げられる。

<https://www.maff.go.jp/j/kokusai/kokkyo/guideline.html>

農林水産物・食品 輸出支援 プラットフォーム

- 在外公館、JETRO海外事務所、JFOODO海外駐在員を主な構成員とする輸出支援プラットフォームを設置し、輸出事業者を包括的・専門的・継続的に支援
- (1)カントリーレポートの作成、(2)現地主導でのプロモーションの推進、(3)現地拠点を設ける事業者やこれから現地に進出する事業者支援、(4)日本食レストラン等と連携した日本食の普及等を実施

海外展開に際して検討すべき現地の課題と対策にかかる情報整理

<https://www.maff.go.jp/j/kokusai/kokkyo/platform.html>